

## 3. 新聞等に掲載された活動

### ○放射線リスク制御部門 国際保健医療福祉学研究分野

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
高村 昇・教授	被災地支援 取組み紹介	福島民報	2019年 4月18日	広報誌 Choho 特別号完成について
高村 昇・教授	被ばく医療サテライト修士課程の説明会	朝日新聞	2019年5月 17日	薩摩川内にて原子力災害に対応できる人材の育成の重要性を説明した
高村 昇・教授	被ばく者健康講話	長崎新聞	2019年6月 21日	被ばく者の健康寿命の増進を目的とし、健康講話にて知って得する健康クイズを披露した。
高村 昇・教授	被ばく医療人材育成	民友新聞	2019年12 月31日	福島県内の大学と連携し災害・被ばく医療科学分野での人材育成についての取り組みを川内村など浜通りで始めた。
高村 昇・教授	原発被害者の帰還支援	読売新聞	2020年2月 3日	業務支援、教育支援、復興支援の3部門で原発被災地の支援を行い、今後の抱負を話した。

### ○放射線リスク制御部門 放射線災害医療学研究分野

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
光武範吏・教授	「甲状腺ホルモン」の市民講座	西日本新聞	2019年7月 6日	日本甲状腺学会、日本内分泌外科学会、西日本新聞社主催の市民公開講座「知っていますか？実は身近な甲状腺の病気」が福岡市・天神で開かれた。光武氏は「甲状腺ホルモンは人間の活動を下支えする大切な存在」と説明した。

### ○原爆・ヒバクシャ医療部門 血液内科学研究分野

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
宮崎泰司・教授	韓国への専門家派遣事業	NASHIM（長崎・ヒバクシャ医療国際協力会）通信 Vol.45	2019年3月	「放射線による造血障害—長期影響—」について、韓国の馬山医療院にて医師・看護師等医療従事者を前に講演を行った。

### ○原爆・ヒバクシャ医療部門 腫瘍・診断病理学研究分野

#### ○共同研究推進部

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
中尾麻伊香・助教	著書『科学者と魔法使いの弟子』の出版	西日本新聞	2019年5月 26日	社会のなかで科学者や科学とどう向き合うかを考える
中尾麻伊香・助教	著書『科学者と魔法使いの弟子』の出版	西日本新聞	2019年8月 1日	社会のなかで科学者や科学とどう向き合うかを考える
中尾麻伊香・助教	長崎の近現代資料の保存・公開をもとめる	長崎新聞、毎日新聞、朝日新	2019年11 月、12月	長崎の近現代資料の保存・公開をもとめる会の呼びかけ人の一人として、資料の

	会の立ち上げ	聞、NHK など		保存・公開の重要性を社会に訴える
--	--------	----------	--	------------------

## ○資料収集保存・解析部 資料調査室(原研情報室)

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
横田賢一・助教	「被爆者調査票をデータベース化」	長崎新聞	2019年6月9日	原爆投下直後に旧長崎医科大学で実施された被爆者の急性症状等の調査データをデータベース化することにより継承し将来の研究利用も可能にしたことおよびデータの再解析の概要が紹介された。
横田賢一・助教	「被爆者の医療データを未来へ」	NHK長崎放送局 イブニング長崎	2019年7月25日	本学の原爆被爆者データベースの構築から利用の概要、データの意義および今後の継承に係る課題について紹介された。

## ○資料収集保存・解析部 生体材料保存室(原研試料室)

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
赤澤祐子・准教授	インタビュー 夢を拓く・女子中学生のためのガールズカンファレンス	長崎新聞	2019年12月17日	12月8日に大村市で開催されたガールズカンファレンスにおいて、女子中学生を対象に講演を行ったことが紹介された
赤澤祐子・准教授	2019年度ソロプチミスト日本財団 女性研究者賞 贈呈式	京都新聞	2019年10月10日	10月9日の京都での贈呈式の様子が掲載された